



今月号では、9月に開催されました定例教育委員会の報告と、朽木中学校の活動を紹介します。

### 第9回定例会報告

9月22日開催

#### ▼議事

●高島市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の施行に関する高島市教育委員会規則について

高島市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例を改正したことに伴い、教育委員会へ指定管理者の権限と事務の一部を移管するため本規則を制定することについて承認しました。  
●高島市今津弘川運動公園の管理運営に関する規則について  
「今津弘川運動公園」開設

による規則制定について承認しました。

#### ▼協議

●高島市教育委員会が所管する公の施設の高島市指定管理者候補者選定委員会の組織および運営に関する要綱について

教育委員会に指定管理者候補者選定委員会を設置するための要綱について協議しました。

今後、生涯学習・スポーツ関連等の選定審査会が設置される予定です。

#### ▼報告

●文化財が所在する土地の寄付について

安曇川町「南古賀古墳群」・新旭町「河原市一里塚跡」を寄付していただくことについて説明を受けました。  
●琵琶湖環状線沿線文化財探訪「田屋城ウォーク」について  
11月19日にマキノ町で開

催される本事業について説明を受けました。  
◆その他の報告  
たかしま市民大学「健康」コースの開講・第50回滋賀県人権教育研究大会について報告を受けました。

### 高島市社会教育基本方針(建議)

高島市社会教育委員の会議から高島市の社会教育を振興していく上で、特に重視すべき課題と方策を次の観点から提言していただきました。

- ・地域の特徴を生かしたまちづくりの中での社会教育の推進
- ・全市民的な教育資源の把握と有効活用
- ・人材(個人・団体)の発掘と確保および活用
- ・公民館運営の活性化
- ・勤労観・職業観の育成・職業能力の開発や教養的なものおよび人権問題、環境問題、国際化・多文化共生等の現代的課題に対する学びの重視
- ・社会教育に係わる民間教育事業者や関係NPO・ボランティア団体、首長部局等との連携
- ・社会教育関係団体(既存の団体の活性化)
- ・健康づくり・社会体育の振興

あらゆる年齢層の学習意欲の喚起およびそれぞれに必要なとされる学習機会の提供  
―の活用



建議を行う高島市社会教育委員

- ・松見 茂 委員長(中央)
- ・海老澤 文代 副委員長(中央右)

### 高島市青少年育成推進方針(建議)

高島市社会教育基本方針に併せ、高島市社会教育委員の会議から新高島市において新しい時代に対応した青少年育成について、次の観点から提言していただきました。

- ・家庭での教育の向上
- ・学校・園に対する社会教育からの支援
- ・地域教育力の向上と地域の活性化
- ・各種団体や地域社会での青少年育成
- ・健全育成の推進体制



「た教育」の推進に努めています。地域の自然や伝統文化の色々な価値に気づき、ふるさとの



朽木中学校

学校の正門横にある高さ5.8mの『ピン子の塔』。『ピンコ』とは、杉の一年子をいいます。ピンコ、二年子、そして山行き(三年子)。下刈り、木起こし、枝打ち…、入念な手入れがなされ、やがて大樹となる。「ふるさと朽木を思い、ともに学び、考え、行動する力をはぐくむ」こんな願い・決意の象徴です。教育の原点として「地域に根ざした学校づくり」「水と緑の行き交う高島市の特性を生かした教育」の

良さを再発見するとともに、郷土の発展に貢献することをめざして。

#### ●源泉へ恵まれた自然に抱かれて

伝統産業の知恵や技術を学び、ものづくりを通じて、森林文化を追究し、自然との共生

について深く考える機会としています。五月には、みんなの宝物である「芦生のブナ原生林」を訪れ、環境学習。九月には、いきものふれあいの里で炭焼き体験。雑木の間伐、玉切り、運搬、窯詰め、火入れ。以後、数日間の追い炊き。窯に火が回り、煙が青白くなるまで管理。そして、窯を閉じ



十分熱がさめると待つ。十月に窯だしを行い、炭を袋詰め。その炭は朝市で販売。

他にも、杉の間伐や枝打ち、下草刈り、椎茸栽培、かんじき作り…と自然体験の内容には事欠きません。

#### ●川へ天空よりふるさと朽木を望む

ふるさと朽木を高所から見下ろし、古道・峠道の観察を通して先人の苦勞をしのんだり、人々の生活(漁業・いかに流し・水害など)との関わりについて考えたりもしています。比良(天空)登山や安曇川での川遊び…、たくましく鍛えられるとともに、ふるさとのよさを再発見し、豊かな心(互助・自助精神)を育もうとしています。



#### ●びわ湖へ山の子がびわ湖に挑戦

山の子が、びわ湖遠泳。体力づくりと環境学習も兼ねて。保護者や地域住民のご支援をいただきながら、みんなで元気を出そうと、また、



「日々の小さな努力と支え、台いを大切に、たくましく生きる」、そんな中学生を

育てています。

#### ●ふるさと発へ未来を拓く

「へき地小規模校だからこそ」の修学旅行の「ねらい」と企画で、沖繩の歴史や文化、自然を体感しています。「平和」「人権」「生命」「環境」などについて真剣に考え、ふるさとと比較しながらそれぞれの良さを味わい、それぞれの課題に気づけば、それは、個々の生徒のたくましい生き方につながり、ふるさとを拓き、未来を拓く力に結びつくと考えています。地域の課題を単にハンディとせず、縦割り班活動や地域貢献活動などダイナミックな活動を展開することで「大きな学校」を目指しているのです。



●教育委員会 Information  
に対するご意見等は、高島市教育委員会事務局総務課(076-211-32)までお気軽にお寄せください。